



熊本県中学校体育連盟功労者賞を受賞して

天草市立有明中学校 教諭 池田信敏

令和3年度熊本県中学校体育連盟功労賞をいただき、心から感謝申し上げます。これまでの先輩諸氏からの温かい導きと、同僚の先生方の理解、天草郡市の先生方及び地域の方々の支えがあつてのこそのことと受けとめ、同時に、これまで出会ってきた生徒たちにも感謝しております。

昭和60年4月1日、菊池市立菊池南中学校で教諭としてスタートを切った私の教師生活は、駅伝に始まり駅伝に終わると言っても過言ではありません。当時下益城で行われていた熊本県中学校駅伝競走大会が、この時から菊池市立菊池南中学校をスタート・フィニッシュで実施されることが決定しておりました。夏休みは早朝2日間、50mと100mの金尺を持ち菊池郡市の先生方と菊池南中から国道325号線を大津方面に22kmの距離測定を行いました。大きな交差点を測定していると大型ダンプが金尺の上を通り破損し使えなくなったり、坂道では大型トラックに排気ガスを吹きかけられたりと、過酷な測定でしたが、それにも勝る当時の先生方の意気込みがありました。

新採期間を終え、自分が育った天草に赴任した時にも、天草の先生方の陸上・駅伝にける思いを痛感し、負けてはおられぬと思ったことが昨日のように思い出されます。そんな中、平成5年より熊本県中学校体育連盟会長に就任される故西山富男先生が、「天草で県駅伝をしたいが可能だろうか」と数名の先生方を集めて相談されました。「天草の生徒に素晴らしい走りを見せたい」「天草に多くの人を集めて天草を盛り上げましょう」という言葉とともに全員が「是非やりましょう」という声で一致し、天草大会の準備がスタートしました。「迎える」を合言葉に、当時の本渡市営陸上競技場（現本渡運動公園陸上競技場）発着で新和方面へのコースを決めました。そこから距離測定を開始、平行して大会運営に関する打ち合わせ、宿泊や競技者輸送・開閉会式計画、「迎える」ために多くの時間を必要としました。そして平成5年11月11日（木）開会式、翌12日（金）に天草で初めての県中学駅伝がスタートし、天草警察署及び関係機関の全面的な協力により大成功の内に終了することができました。西山先生の「天草の先生方は素晴らしい」と発せられた言葉で、これまでの苦労が全て報われたような気持ちになったものです。途中3年間球磨人吉郡市で開催されたときには、県陸強関係者の方から「なぜ天草から離れた。もう天草ではできんぞ」という言葉をいただきました。しかし、地元天草の先生方や地域の方々から「もう一度、天草で駅伝をやって欲しい」

「天草に元気を与えて欲しい」と言う声が多く寄せられ、関係機関と打ち合わせを行わない、平成18年度から再度天草開催が決定し、本渡運動公園陸上競技場～五和方面への新コースで開催することができました。以来通算24年間天草の先生方とともに力を合わせて運営にあたってきました。また、平成10年を最初に計5回の九州中学駅伝競走大会を天草で開催できたことは、天草の先生方の苦労は大きかったと思いますが、天草郡市中体連の団結力の強さを表すこともできたと思います。また、多くの生徒が天草路に集いそして駆け抜け、県内はもとより九州各県の監督や生徒及び保護者の方々から「駅伝は天草で」という言葉が多く聞かれるようになったことは、天草全体に元気を与えてくれたと思います。コロナ禍で、私にとって最後の2年間が天草開催できなかったことは心残りではありますが、これからも「駅伝は天草で」を合言葉に令和5年に完成する新しい競技場をスタート・フィニッシュの新コースでの開催を目指して、微力ながら一競技役員としてこの駅伝に関わり、ふるさと天草をもっと盛り上げていきたいと思っております。

最後になりますが、今後の熊本県中学校体育連盟・体育研究会の発展を祈念すると共に、これまでのご指導・ご鞭撻に感謝申しあげ、お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。